

令和3年度事業報告

令和3年度事業報告の概要

管理部門

就労支援グループ

もりときマーケット

もりときマーケットⅡ

ようこそ森と木ラボ

カフェハクナマタタ

もりときピコ

通所支援グループ

自立サポート森と木

デイセンター風の森

モーリー農場

もりすけ

森と木 LIFE

生活支援グループ

ながの地域相談支援センターベターデイズ

森と木 365(短期入所)

森と木 365(居宅介護等)

森と木ホーム 365

グリーンハイツ稲田

こどもの自立生活館茜舎

茜舎くらぶ

こども発達支援センターBee

I. 令和3年度事業の概要

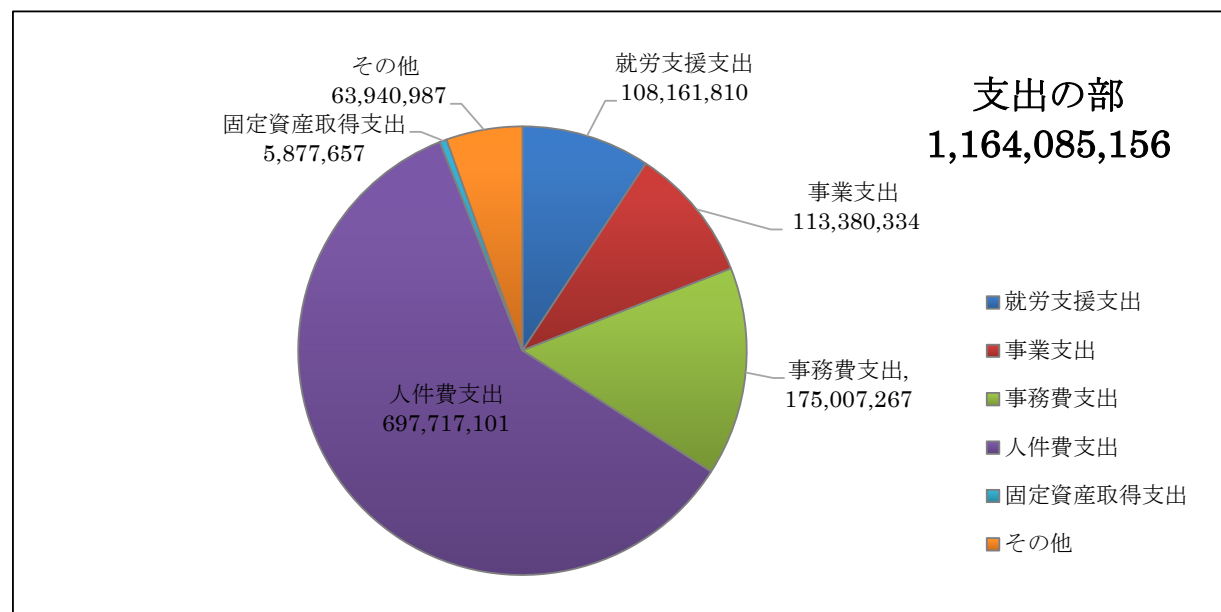
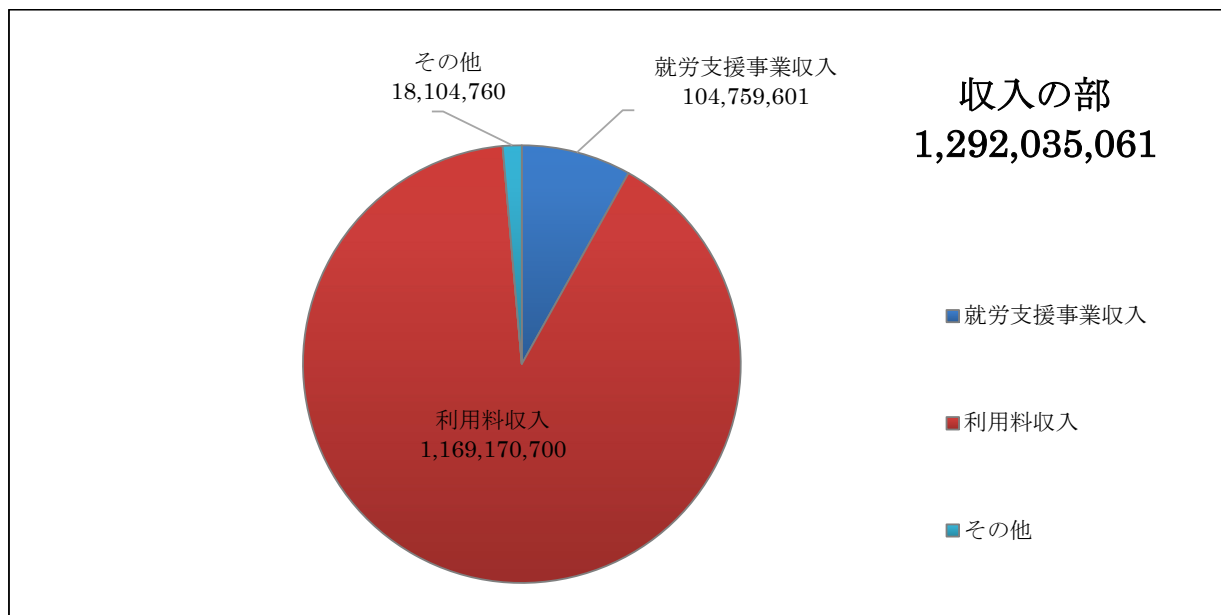
1. 総括

令和3年度も新型コロナウイルスの新たな変異株の出現により感染拡大が続き、前年度に続き経済活動の制限をはじめとして市民生活に暗い影を落とした年となった。当法人で提供する福祉サービスについても国のまん延等防止措置や県の発出する感染警戒レベルに合わせて一定の利用制限等も実施しなければならない状況になった。特に、感染が急拡大した第6波においては、当法人のサービス利用者や職員などが感染や濃厚接触者になり、自宅待機者も多くなり、サービス提供及び法人運営にもコロナウイルス感染が大きな影響を与えた。

長野市稲田に新しく建設したノース稲田（グループホーム）は、行動障害を伴う自閉症の人が安心して生活できるようより個別化された住空間を実現し、より一人ひとりの生活スタイルに応じた生活支援を行ってきた。また、店舗展開をしている通所施設では、利用者の仕事を充実させながら売り上げのアップにも取り組み下半期は一定の効果が表れてきた。

また、職員が安心して働ける職場づくりを目指して、国の働き方改革に関する法改正に合わせて就業規則等の改正にも取り組んできた。

2. 決算の状況 ※令和3年度の資金収支状況



Ⅱ. 管理部門事業報告

令和3年度 法人本部

1. 令和3年度 理事会、評議員会、内部監査等

令和3年度の事業計画に基づき、予算執行の協議・検討を行い、安定かつ効果的な法人運営に努めた。

(1) 開催内容

	日時	審議内容	審議結果
内部監査	令和3年5月12日(水) 午後2時より	令和2年度事業・決算・利用者金銭管理監査	承認
第1回 理事会	令和3年5月22日(土) 午後1時30分より	第1号議案 令和2年度事業報告書(案)について 第2号議案 令和2年度決算書報告(案)について 第3号議案 定款変更(案)について 第4号議案 評議員会の招集について 第5号議案 第11期理事・監事候補者選定(案)について 第6号議案 第10期評議員候補者選定(案)について 第7号議案 第2期評議員選任・解任委員の選任(案)について	第1号議案:全会一致承認 第2号議案:全会一致承認 第3号議案:全会一致承認 第4号議案:全会一致承認 第5号議案:全会一致承認 第6号議案:全会一致承認 第7号議案:全会一致承認
評議員選任 解任委員会	令和3年5月22日(土) 午後4時より	第10期評議員の選任について	全会一致承認
第1回 評議員会	令和3年6月12日(土) 午後3時00分より	第1号議案 令和2年度決算書報告(案)について 第2号議案 定款変更(案)について 第3号議案 第11期理事・監事選任(案)について	第1号議案:全会一致承認 第2号議案:全会一致承認 第3号議案:全会一致承認
第2回 理事会	令和3年6月12日(土) 午後4時30分より	第1号議案 第11期理事長・専務理事の選定について	第1号議案:全会一致承認
第3回 理事会	令和3年11月26日(金) 午後6時30分より	第1号議案 諸規定の改定について	第1号議案:全会一致承認
役員懇談会	開催中止	—	—
第4回 理事会	令和4年3月5日(土) 午後1時30分より	第1号議案 令和4年度事業計画(案)について 第2号議案 令和4年度予算書(案)について 第3号議案 令和3年度補正予算(案)について 第4号議案 諸規定の変更について 第5号議案 虐待防止委員会の設置について	第1号議案:全会一致承認 第2号議案:全会一致承認 第3号議案:全会一致承認 第4号議案:全会一致承認 第5号議案:全会一致承認

(2) 理事、監事、評議員等出欠状況

	日時	出席者	欠席者
内部監査	令和3年5月12日(水) 午後2時より	大池ひろ子・高坂亀美雄 白井千尋・岸田隆・奥村和枝	無
第1回 理事会	令和3年5月22日(土) 午後1時30分より	白井千尋・仁科研二・増田修史・岸田隆 奥村和枝・大池ひろ子・高坂亀美雄	田中宗史
評議員選任 解任委員会	令和3年5月22日(土) 午後4時より	矢下喜雄、大池ひろ子、高坂亀美雄、島田京子	無
第1回 評議員会	令和3年6月12日(土) 午後3時00分より	岡野さゆり・金澤敦志・寺澤小百合 武田るい子・寺沢博文・樋口清志・白井千尋 岸田隆・奥村和枝・高坂亀美雄	山本恭子、大池ひろ子
第2回 理事会	令和3年6月12日(土) 午後4時30分より	白井千尋、田中宗史、仁科研二、増田修史 岸田隆、奥村和枝・高坂亀美雄	大池ひろ子
第3回 理事会	令和3年11月26日(木) 午後6時30分より	白井千尋・仁科研二・田中宗史・増田修史 岸田隆・奥村和枝・大池ひろ子・高坂亀美雄	無
第4回 理事会	令和4年3月5日(土) 午後1時30分より	白井千尋・仁科研二・増田修史・岸田隆 奥村和枝・大池ひろ子	田中宗史・高坂亀美雄

2. 職員がいきいきと働き続けるための補助事業

職員がいきいきと働き続けるための補助事業を活用し、研修参加や資格取得、関係書籍等を購入し職務の専門性を高めることができた。

研修内容・支給金額・利用人数

研修内容	支給金額	のべ利用人数
書籍購入費(関係書籍等 32 冊)	63,700 円	6 人
資格取得費	0 円	0 人
研修参加費	0 円	0 人
合計	63,700 円	6 人

3. 職員が法人理念を共有するための補助事業

職員が法人理念を共有するための補助事業を活用し、上司が部下の日頃の思いに耳を傾け部下が上司の理念や仕事に対する考えを学んだりするためのコミュニケーションの場を設けることにより若い職員やパートナースタッフの資質向上や職員間の法人理念の共有を深めることができた。

開催回数・支給金額

開催回数	支給金額	のべ利用人数
12 回	420,940 円	141 人

4. 令和3年度新規職員採用試験実施状況

開催日	試験内容	受験者数	採用結果
令和3年7月10日(水)	筆記試験・面接	2 人	2 人
令和3年7月12日(月)	筆記試験・面接	1 人	1 人
令和3年8月21日(土)	筆記試験・面接	2 人	2 人

令和3年9月21日(火)	筆記試験・面接	1人	0人
令和3年10月30日(土)	筆記試験・面接	2人	2人
計	4回	8人	7人

5. 令和3年度職員研修の実施

職員のスキルアップを目指して、以下の通り内研修の実施、外部研修へ参加をした。

対象者	研修内容	人数
職員	全体職員研修(1回)関哉弁護士による「障害者虐待防止法と小さな出来事」の講義とグループワーク	53人
職員	勤続年数に応じた研修(6回)	22人
パートナースタッフ	スタッフ研修(13回)総括センター長による「権利擁護と適切な支援」の講義	231人

6. 職員託児事業

職員託児事業を行い、育児休業を取得した職員のスムーズな職場復帰と乳幼児のいる職員の職場定着を図ることができた。

場所	ワンズハウス2階 託児室																					
利用者数	3人																					
職員体制	保育士1人/補助スタッフ1名																					
開所日数	186日																					
開所時間	8:30~17:00																					
基本日課	<table border="0"> <tr> <td>8:30</td> <td>9:30</td> <td>11:00</td> <td>12:30</td> <td>15:00</td> <td>16:30</td> <td>17:00</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>朝寝</td> <td>昼食</td> <td>昼寝</td> <td>おやつ</td> <td>帰宅①</td> <td>帰宅②</td> </tr> </table>	8:30	9:30	11:00	12:30	15:00	16:30	17:00								受入	朝寝	昼食	昼寝	おやつ	帰宅①	帰宅②
8:30	9:30	11:00	12:30	15:00	16:30	17:00																
受入	朝寝	昼食	昼寝	おやつ	帰宅①	帰宅②																

7. 苦情解決状況

苦情の内容		苦情の件数	結果		
1	施設運営に関すること	1件	9件	1 解決済	9件
2	施設管理等に関すること	1件		2 継続中	0件
3	支援に関すること	7件			
4	その他	0件			

8. 第3者委員報告会

日時	内容	出席者
令和4年3月2日(水) 午後1時30分より	令和3年度 苦情解決の状況について	矢下光子・白井千尋 岸田隆・奥村和枝

令和4年3月2日

令和3年度 苦情解決状況 報告書

令和3年度における苦情を下記のとおり受付・解決しましたので、ご報告いたします。

記

受付日	事業所 (サービス)	苦情の内容	対応状況	解決 状況
4/20	Bee (児童発達支援)	活動の様子や発語があったかなど、 迎える時に必ず教えて欲しい。	コロナ対策で送出しの際に十分話 ができないこともあり、個別で時間 を取って話をお聞きした。	解決済
4/21	もりすけ (生活介護)	通所した際に、他の利用者の方の様 子で室内に入ることができずに外で 過ごしたことで、日焼けしてしまい首 元が赤くなってしまった。タオルを巻 くなどして日焼け対策をしてほしか った。	スタッフが声掛けをしたが、外で過 ごす時間が長くなってしまったことな ど当日の状況を説明し、配慮がいき とどかなかったことについて謝罪し た。	解決済
4/23	Bee (児童発達支援)	これまでに2回手にとげが刺さり通 院した。施設全体を点検してほしい。入口のドアもさきくれているとこ ろがある。	建物の点検をし、危険各所を確認 し、外壁を塗装した。	解決済
8/4	森と木 LIFE (生活介護)	家族の迎えの際に砂遊びを始めて しまい、砂だらけなのでシャワーを 浴びさせてほしいと伝えたが断られ た。	男性職員の対応が必要であり、1 時 間以上かかってしまうため、お断り したがご理解いただけず、本部にも 連絡があった。体制が整わず対応 できない旨を再度ご説明し謝罪し た。	解決済
9/27	森と木ホーム 365 (共同生活援助)	2週間に1度帰宅するが、ひげが剃 っていないことがある。歯ぐきからも 出血があるので毎日朝夕電動歯ブ ラシで磨いてほしい。生活上の基本 的な支援がなされていないことに困 惑している。	髭剃りはご本人の拒否があるため、 支援方法を検討していくことをお伝 えする。また、歯磨きはブラッシング を引き続き継続することを担当スタ ッフに周知した。	解決済

10/15	もりとき マーケット (就労継続支援 B型)	支援会議で、本人のむせる頻度が増えたことや息切れが話題にあがったことについて、障害で治せない部分まで直さなければ通所できないと言われているような気持ちになってしまった。今後はこのようなことは言わないでほしい。	ご家族の思いをお聞きし、こちらの発言で不安にさせてしまったことについて謝罪した。	解決済
11/24	森と木ホーム 365 (共同生活援助)	ホームに迎えに行った際に、居室に鍵がかかっている本人は一人で居室の中で過ごしていた。閉じ込められているような感じがして、心配になった。	ご本人がカギを開けることができるので、他の方の入室を避けるため、鍵をしている旨をお伝えしご理解いただいた。	解決済
1/27	森と木ホーム 365 (共同生活援助)	水道光熱費が前年度と比べて8,000円ほど高くなっている。	退去した方がいたため、おひとりの負担額が大きくなってしまっていることをご説明する。	解決済
2/10	森と木ホーム 365 (共同生活援助)	体調不良の時にホームに泊まったことについて、スタッフから責められるようなことを言われた。	該当のスタッフから聞き取りをし、不適切な発言について指導し、ご家族に謝罪した。	解決済

上記の苦情解決状況報告書を確認しました。

令和4年3月2日

第三者委員氏名

矢下光子



第三者委員氏名



事業報告書【令和3年度】			
事業所名	もりときマーケット	サービスの種類	就労継続支援B型 生活介護
1. 総括	<p>レストランや喫茶店など店舗での仕事を通して、やりがいや誇りを感じながらいきいきと働き、充実した就業生活を送ることができるよう支援した。得意なことを活かしてスキルアップできるようひとりひとりの作業内容を見直したり、作業別の絵カードなどを作成し視覚的にわかりやすい支援を心がけた。</p> <p>コロナウイルス感染拡大の影響を受け、来店客の減少があったが、仕入れや価格を見直したことで、利益増につながった。</p>		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護及び就労継続支援B型支援を行った。		
	(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画及び就労継続支援B型計画を作成し6か月に1回モニタリングのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、勉強会		
3. 職員数	管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員3名、職業指導員1名、目標工賃達成指導員2名、看護師1名、嘱託医1名		
4. 利用者実績	<p>一日平均 就労継続支援B型4名（定員10名）</p> <p>一日平均 生活介護5名（定員10名）</p>		
5. 開設時間	<p>曇り時々晴れ本店、西洋料理店もりたろう：火曜～日曜 午前9:00～午後4:00</p> <p>曇り時々晴れ駅前店：月曜～日曜 午前9:00～午後4:00</p> <p>café morino..：月曜～金曜 午前9:00～午後4:00</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 店舗の運営 レストラン、喫茶店等飲食店の運営をし、菓子製造、調理補助、接客、店外販売、清掃等の作業支援を行った。</p> <p>① もりたろう売上 22,675,663円、工賃総額 837,450円、平均工賃 15,508円/月</p> <p>② 曇り本店売上 11,434,119円、工賃総額 1,171,125円、平均工賃 13,941円/月</p> <p>③ 駅前店売上 10,391,846円、工賃総額 173,700円、平均工賃 14,475円/月</p> <p>④ café morino.. 8,461,309円、工賃総額 168,030円、平均工賃 14,002円/月</p>		
	<p>(2) 勉強会 もりときマーケットⅡと合同で、年2回「勉強会」を行い、衛生や接客について勉強した。飲食店で働く上で欠かせない、正しい手洗いの方法やよりよい挨拶について実践的に学び、日々の仕事に活かすことができた。</p>		
	<p>(3) 余暇企画 ボーリングやカラオケ、忘年会や暑気払いなどの余暇活動をコロナウイルス感染予防に留意しながら実施した。毎回7～8名程度の参加があった。</p>		
	<p>(4) 研修旅行 令和3年9月16日（木）～9月17日（金）なべくら高原森の家</p>		
	<p>(5) 店舗製品作り、アート活動 週に1日、希望により絵画などのアート活動を実施した。また、陶芸では店舗で使う皿などを制作した。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	主たる事業所:もりときマーケットⅡ 従たる事業所:ベジタボーラ	サービスの種類	就労継続支援B型
1. 総括	<p>もりときマーケットⅡ（ごはんの森）では、給食製造の調理や配達等の就労機会を提供することで、仕事へのやりがいや誇り、達成感を実感し、充実した職業生活を送ることができるよう支援した。ごはんの森本体では6名～8名、Bee、森と木、風の森厨房では、それぞれ1名の利用者の方が働き、さまざまな作業種に取り組んだ。</p> <p>ベジタボーラでは、サンドイッチカフェでの仕事を通して、やりがいや誇りを感じながらいきいきと働き、充実した就業生活を送ることができるよう支援を行った。コロナウィルス感染拡大の影響で、外部販売やイベント販売の機会は減少したが、テイクアウトの需要はあり、来店客の減少はそれほどなかった。また、仕入れや価格の見直しをしたため、利益増につながった。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、就労継続支援を行った。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 就労継続支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、勉強会</p>		
3. 職員数	管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員2名、職業指導員2名、目標工賃達成指導員2名		
4. 利用者実績	1日平均11名（定員20名）		
5. 開設時間	ベジタボーラ 火曜日～日曜日 午前9:00～午後4:00 ごはんの森 月曜日～金曜日 午前9:00～午後4:00		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 店舗の運営（ベジタボーラ） パン屋の運営をし、調理補助、接客、洗浄、清掃、接客、外部販売等の作業支援を行った。 売上27,253,994円、工賃総額1,378,170円、平均工賃19,141円/月</p> <p>(2) 給食施設の経営（ごはんの森） 調理、盛りつけ、配達、回収、洗浄作業等給食施設の運営を行った。 売上35,398,392円、工賃総額1,770,480円、平均工賃14,051円/月</p> <p>(3) 勉強会 もりときマーケットと合同で、年2回「勉強会」を行い、衛生や接客について勉強した。飲食店で働く上で欠かせない、正しい手洗いの方法やよりよい挨拶について実践的に学び、日々の仕事に活かすことができた。</p> <p>(4) 余暇企画 ボーリングやカラオケ、忘年会や暑気払いなどの余暇活動をコロナウィルス感染予防に留意しながら実施した。毎回10名程度の参加があった。</p> <p>(5) 研修旅行 令和3年11月5日（金）～11月6日（土）於:白馬、カフェ見学</p> <p>(6) 店舗製品作り、アート活動 週に1日、希望により絵画などのアート活動を実施した。また、陶芸では店舗で使う皿などを制作した。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	ようこそ森と木ラボ	サービスの種類	自立訓練（生活訓練） 就労継続支援B型
1. 総括	<p>発達障害のある人を対象に、自己理解を深めながら将来のその人らしい自立生活を送っていただけることを目的に社会体験や学習活動等に取り組んだ。</p> <p>自立訓練事業では、個人で目標を決めて取り組む活動や仲間と目的を共有した共同活動、支援者との面談などを通して周囲の人との信頼関係を築き、自尊心を高めていけるように支援を行った。住民自治協議会等と連携イベントに参加する機会をつくることで、地域の人たちとの関係を築きながら、役割を持って社会へ参加していく経験とその喜びを感じられる活動を提供できた。</p> <p>就労継続支援B型事業では、個別の目標をもとに作業やアートなどの活動に取り組みながら、一人ひとりが自分らしく社会参加をしていけるように支援を行った。また就労希望の方に対して実習や面接同行を行い、1名の就職を支援した。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、自立訓練事業・就労継続支援B型事業を行った。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 自立訓練・就労継続支援計画を作成し3か月又は6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議</p>		
3. 職員数	管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員2名、訪問支援員1名、職業指導員1名、		
4. 利用者実績	就労継続支援B型1日平均8名（定員10名）、自立訓練8名（定員10名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前9:00～午後4:00		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 個別活動 興味のあることややってみたいことをもとに一人ひとりが課題を決めて活動に取り組んだ。検定にむけた勉強や読書、アート制作、パソコントレーニングなど、本人が決めて取り組むことで達成感を感じられる活動となった。</p> <p>(2) 地域活動 コロナウイルス感染予防に留意しながら、子育てサロンへのボランティアへ参加した。また、例年より回数は減ったが市民交流センター等地域のイベントに参加し販売を行った。役割を持って社会参加をし、そこで喜ばれる経験をすることで、大きな達成感を感じられる場となった。</p> <p>(3) 自分研究 テーマに沿って自分の気持ちを伝えたり相手の話を聞いたりしながら、自分自身や周りにいる仲間の理解を深める活動を行った。</p> <p>(4) 特別活動 ・長距離のウォーキングイベント「ラボウォーク」（5月20日～21日） ・黒姫山登山（10月7日）と戸隠五社巡り（11月5日） ・子ども発達支援センターBee用七夕飾り制作 ・善光寺灯明祭りの切り絵製作・出展 ・1年間の活動発表の機会として「ラボ感謝祭」（3月9日～18日） 1つの目的に向けて協力し合いながら、仲間との関係を深められる機会となった。</p> <p>(5) スポーツ活動 体力づくりのために、球技やダンス、ウォーキングなどのスポーツに取り組んだ。</p> <p>(6) ワークトレーニング 企業での作業のイメージを持てるようになることを目的にして、協力・連携を取りながら作業を行った。（桜井甘精堂の箱折り、ネット販売の製品発送作業）</p> <p>(7) 職場見学、職業体験 就職に向けた支援として、ハローワークの同行支援や職場見学・職場体験（介護事業所等）、面接同行を行った。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	地域活動支援センター カフェハクナマタタ	サービスの種類	地域活動支援センターⅢ型
1. 総括	<p>地域活動支援センター「カフェハクナマタタ」では、地域で暮らす障害のある人が安心して過ごせるための居場所を提供し、年間を通して多くの利用があった。個別相談を受け、必要に応じて相談支援専門員や関係機関と連携をとり、次のステップへ移行するための支援も行った。</p> <p>地域の人たちと関係をつくり、ボランティアの育成や理解啓発のための取り組みとして、民生児童委員協議会での情報提供や、月に一度オープンカフェを行った。オープンカフェは感染が増加する時期は開催を控えたりしつつも、可能な時期は予防に留意しながら開催し、良い相互交流の機会となった。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大への利用者の方々の不安が大きく、利用時間や一度に入室できる人数を制限したり、飲食を控えてもらう対応をとりながら、地域のなかの居場所として運営を継続した。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 憩いの場の提供「カフェハクナマタタ」の運営と相談支援</p> <p>(2) サークル活動の実施</p> <p>(3) 当事者の話す会「しゃべくりカフェ」の開催</p> <p>(4) 各種イベントの開催</p> <p>(5) 地域とつながり理解を広めるための活動「オープンカフェ」の実施</p> <p>(6) カフェ通信「だいじょうぶだあ通信」の発行</p>		
3. 職員数	管理者1名、専門職員1名、指導員2名		
4. 利用者実績	1日平均20名		
5. 開設時間	火曜日～土曜日 午前10:00～午後7:00		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 「カフェハクナマタタ」の運営と相談支援 誰でも立ち寄れる場所としてカフェを運営した。個別相談の支援も行い、相談支援機関と連携を図りながら、次のステップのための情報提供等を行った。</p> <p>(2) サークル活動 平日の夜間と土曜日の日中の時間帯に、料理・ゲーム・ダイエット・クラフト・将棋・スイーツサークルを行った。メンバーを固定して行い、同じ趣味を持つ人同士のつながりができ、楽しみを共有する関係が築けた。</p> <p>(3) しゃべくりカフェ 日頃感じていることや悩みなどを話したり、聞きあったりする機会をつくった。思いを共有しあえる機会となった。</p> <p>(4) 各種イベントの開催 喫茶店巡りやスポーツ、飲み会など、余暇を楽しむためのイベントを開催した。花見や夏祭りなど季節のイベントを楽しめる企画も行った。</p> <p>(5) オープンカフェ 理解啓発の取り組みとして、月一回、住民自治協議会や民生委員等と連携し、地域の人が集える場としてカフェを開放し、様々な人が訪れた。</p> <p>(6) だいじょうぶだあ通信 2ヵ月に一度、カフェのイベントやお知らせを掲載した通信を発行し、利用者や相談支援機関、他事業所等に配布し、情報提供を行なった。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	もりときピコ	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>発達障害のある小学生、中学生、高校生を対象に、放課後や休日に安心して過ごせる場所を提供し、支援者や友達との信頼関係を築いたりコミュニケーション力や社会性を育むことを目的にしたプログラムで支援を行った。</p> <p>チャレンジャーズでは、トレッキングやスノーシューのチャレンジ企画を実施し、友達と協力したり挑戦したりする機会となった。</p> <p>またご家族や学校、病院等関係機関との支援会議を行い、連携を図り情報共有をしながら、ご本人が安心して活動できるように取り組んだ。</p> <p>コロナ感染が増加している時期は、活動内容を変更したり公共交通機関の利用を一時的に控えたりする等、安全に配慮しながらサービスを提供したり、各家庭と連絡を取りながら緊急時における個々に必要な支援を行った。</p>		
2. 事業の内容	(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供を行った。		
	(2)個別支援計画の作成 個別支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3)その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、学校訪問、ケア会議への参加、送迎サービス		
3. 職員数	管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員2名、保育士1名		
4. 利用者実績	1日平均9名（定員10名）		
5. 開設時間	月曜日～金曜日 午後2:30～午後6:30／土曜日 午前9:30～午後3:30		
6. 活動/作業内容	(1)学びタイム 宿題のサポートや本を読んだりする自習の時間を設け支援した。		
	(2)友だちタイム 調理や工作、ゲームなど集団活動に取り組むことを通して、友だちとの関わり方やルールを守ること、気持ちのコントロールの仕方などを実践的に学び、自信を高めていけるよう支援した。		
	(3)マイルーム 中高生を中心に個々に必要なスキルの向上や自己理解を促すために、個別の課題に取り組んだり、面談を行ったりした。		
	(4)クラブ活動 同じ趣味の仲間との関わりを楽しめるよう、アート、スポーツ、鉄道のグループに分かれて活動に取り組んだ。同じメンバーで集まる時間となり、関わりを深めながら共に楽しむ姿が見られた。		
	(5)チャレンジャーズ これまでしたことのないことに挑戦することを目的に、飯山七福神めぐり（5月22日、中高生対象）、茶臼山トレッキング（10月2日、小学生対象）、鍋倉高原スノーシュー（1月15日）を行った。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	自立サポート森と木	サービスの種類	生活介護
1. 総括	主に特別支援学校を卒業した知的障害のある方を対象に、様々な社会体験プログラムを提供した。昨年に続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出活動を制限しながらも、年に3回あるチャレンジ企画は感染対策を徹底し行うことが出来た。利用者一人ひとりの習慣や思いに配慮をしながら、個人の目標を明確にし、みなさん達成感を感じられるような企画を行うことが出来た。様々な社会体験や成功体験を積み重ね、自己肯定感を高めていけるよう支援を行うことが出来た。		
2. 事業の内容	(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 自立訓練計画又は生活介護計画を作成し、それを基に定期的にモニタリングのためのケア会議を実施した。		
	(2)個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し、それを基に定期的にモニタリングのためのケア会議を開催した。		
	(3)その他の事業 健康診断 避難訓練 送迎サービス 職員会議 ケース会議等		
3. 職員数	管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員18名、看護師1名、嘱託医1名		
4. 利用者実績	1日平均20名(定員20名)		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前9:00～午後4:00		
6. 活動/作業内容	(1)自立生活プログラム 季節の行事や身近な生活に関わる内容をテーマに社会学習に取り組んだ。また、チャレンジ企画前には事前学習を行い、企画への見通しを持ち、活動意欲を高めるプログラムに取り組んだ。		
	(2)進路支援 利用者の希望や個別面談の内容に基づき、法人内外の事業所の情報提供等を行ってきた。今年度、森と木からは5名の方が卒業され、法人内の施設に通所が決まった。		
	(3)チャレンジ企画 6月25日 森と木登山(瑠璃山・毛無山) 8月26日・27日 森と木キャンプ(長野市青少年錬成センター) 10月21日・22日 森と木ウォーク(長野→飯山)		
	(4)作業活動 下請作業、製菓作業、和紙作り、プランターの植物栽培、花壇整備作業を実施した。		
	(5)アート活動 日々作られる作品から作品展や雑貨製作を行った。定期的な作品展の他に、外部で行う作品展示へも参加した。また、キノ前で行うアートイベントに地域の方にも参加してもらうことで繋がりを作ることができた。		
	(6)サークル活動 調理、スポーツなどのサークル活動を行った。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	デイセンター風の森	サービスの種類	生活介護
1. 総括	ひとりひとり好きな事や得意な事を活かし、作業や季節を感じる活動等、取り組むことが出来た。作業活動はお菓子とクラフトとオリジナル商品の制作販売を行い、法人店舗や他雑貨店でも販売した。 昨年に続き、季節を感じる活動はコロナウィルスの影響あり企画内容変更をすることもあったが可能な範囲で外出や料理などを行った。 身体面では、健康に通所できるような環境に配慮したうえ、機能維持活動や休憩の取り方等一人一人の身体状況に合わせ提案し行った。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護支援を行った。		
	(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、ケア会議、送迎サービス		
3. 職員数	管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員16名、看護師1名、嘱託医1名		
4. 利用者実績	1日平均19名（定員20名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前9:00～午後4:00		
6. 活動/作業内容	(1) 作業活動 作業グループの所属は昨年と変わらず、お菓子(ソフトクッキー)、木工(笑うBOX)、クラフト(あかんべー他)、個々に得意な作業工程を中心に取り組んだ。オリジナル製品は法人内の店舗へ納品したりイベントで販売した。それぞれ担当しているスタッフと意見を交わし、季節や活動環境等その時々に合わせて物づくりに取り組むことが出来ていた。		
	(2) 季節を感じる活動 それぞれ趣味に合わせて少人数のグループで、外出(BBQやトレッキングなど)、季節の食材料理(バジル料理、バレンタイン企画など)の活動を行った。コロナの影響もあり実行出来なかった企画もあったが企画内容を変更し行った。年末泊りで行うアゼイリア飯綱の忘年会旅行は実行することが出来た。		
	(3) アート活動 描くことが好きな方中心にアート活動する機会をつくり、施設内に展示したり作品展に参加したりすることが出来た。		
	(4) フリータイム企画 金曜の午後の映画鑑賞は定着しており毎週楽しみにする方がいた。		
	(5) 地域とつながる活動 外で活動する方中心に、平林地区の地域清掃や歩道の草取りを行った。		
	(6) からだをつくる活動 個別の時間を設け、本人専用の用具を使い体力維持活動をしたり、身体を動かす機会を作ることができた。		
	(7) もりから堂運営 コロナウィルスの影響あつてか客足が例年より少なかったが、季節に合わせ様々なものを作り店内の装飾を行った。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	モーリー農場	サービスの種類	生活介護
1. 総括	<p>作業活動を通して地域の人とつながりを持ち、その人らしくやりがいをもって充実した毎日を過ごせるよう支援をおこなってきた。企業からの仕事依頼も増え地域とのつながりを深めることができた。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で企画していた社会体験プログラムは実施しなかったが、感染対策に十分配慮しながら日帰り旅行は実施した。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し、6カ月に1回モニタリングのためのケア会議を開催した。</p> <p>(2)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った生活介護をおこなってきた。</p> <p>(3)その他の事業 健康診断 避難訓練 送迎サービス 職員会議 ケース会議</p>		
3. 職員数	管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員11名、看護師1名、嘱託医1名		
4. 利用者実績	1日平均20名（定員20名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前9:00～午後4:00		
6. 活動/作業内容	<p>(1)作業活動 グループに分かれて作業活動をし、生産活動、販売活動をおこなってきた。</p> <p>①ジャム・ピクルスグループ 県内産の原材料を使用したオリジナルジャム・ピクルスの製造・販売をおこなった。また農家と契約をし、原材料の仕入れをおこなった。</p> <p>②トマトケチャップグループ 年間を通してトマトケチャップを製造し、販売をしてきた。リピーターが増え、定期的に県外からの注文も入った。</p> <p>③しいたけグループ 原木しいたけを栽培し、生しいたけの販売をおこなった。夏～秋はしいたけ山作業を行い、冬～春はハウス内で栽培をし収穫、販売をおこなった。</p> <p>④畑グループ 徳間、三才、上駒沢の圃場を作業場所として、無農薬で加工用トマトの栽培や雑穀の栽培をおこなった。また、ピクルス、ケチャップに使用する野菜の収穫や販売目的としての野菜の栽培もおこなった。</p> <p>⑤下請けグループ 箱折りや基盤のシールはがしなど企業からの受託作業をおこなった。</p> <p>(2)社会体験プログラム 作業グループごとに余暇活動を企画していたが、新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった。旅行に関しては、日帰り旅行を計画し県内旅行を実施した。</p> <p>【旅行】 榎池高原トレッキング：8月30日 安曇野旅行：9月21日 上越水族館旅行：10月21日、10月28日 諏訪旅行：11月12日 鉄道鉄道文化村旅行：11月19日 松本旅行：12月20日</p> <p>(3)アート活動 毎週火曜日の午後に、個別の活動として、陶芸や絵画などのアート活動をおこなった。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	もりすけ	サービスの種類	生活介護
1. 総括	<p>作業活動を通して地域の人とつながりを持ち、その人らしくやりがいをもって充実した毎日を過ごせるよう支援をおこなってきた。企業からの仕事依頼も増え地域とのつながりを深めることができた。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で企画していた社会体験プログラムは実施しなかったが、感染対策に十分配慮しながら日帰り旅行を実施した。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し、6カ月に1回モニタリングのためのケア会議を開催した。</p> <p>(2) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った生活介護を行ってきた。</p> <p>(3) その他の事業 健康診断 避難訓練 送迎サービス 職員会議 ケース会議</p>		
3. 職員数	管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員14名、看護師1名、		
4. 利用者実績	1日平均17名（定員20名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前9:00～午後4:00		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 作業活動 グループに分かれて作業活動をし、生産活動、販売活動をおこなってきた。</p> <p>①焼菓子グループ 無農薬栽培にこだわった雑穀や小麦等の材料を使用し、健康に配慮したグルテンフリーのオリジナル焼菓子の製造と販売を行ってきた。定期的な販売活動を行い、地域とのつながりを深めていくことができた。</p> <p>②下請けグループ 箱折り作業、基盤のシールはがし、かご拭きなど企業からの受託作業をおこなってきた。</p> <hr/> <p>(2) 社会体験プログラム 作業グループごとに余暇活動を企画していたが、新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった。旅行に関しては、日帰り旅行を計画し県内旅行を実施した。</p> <p>【旅行】 拇池高原トレッキング：8月30日 安曇野旅行：9月21日 上越水族館旅行：10月21日、10月28日 諏訪旅行：11月12日 鉄道鉄道文化村旅行：11月19日 松本旅行：12月20日</p> <p>(3) アート活動 毎週火曜日の午後に、個別活動として絵画のアート活動をおこなってきた。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	森と木 LIFE 森と木 365 デイフロア	サービスの種類	生活介護
1. 総括	行動障害がある自閉症の方や、重い知的障害があるため、人との関わりや日常生活に困難を抱えている方を主な対象として、構造化された環境や日課を提供し、安心して社会生活を送るための支援について検証・確立すると共に、無理の無い範囲で人と関わることに慣れていく機会を提供することを目的として活動を行った。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護を行った。		
	(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議		
3. 職員数	管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員13名、看護師1名、嘱託医1名		
4. 利用者実績	1日平均20名（定員20名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前9：00～午後4：00		
6. 活動/作業内容	(1) 活動拠点とそれぞれの目的 森と木 LIFE を、利用者の障害特性や許容できる刺激のレベルに合わせた3つの拠点に分け、拠点それぞれで活動を行った。活動環境を整備して構造化を図り、分かりやすい日課を提示したり、落ち着くことのできる環境を用意したり、気になる物を極力減らしたりするなどの支援を行なった。 森と木 365 デイフロアでは、それぞれのペースに合わせて作業や趣味的な活動に取り組み、安心して活動できる環境を確保しつつ社会との繋がりを意識した活動を行った。		
	(2) 基本的な日課となる活動 空き缶リサイクル・企業からの受注作業・課題活動・絵画などのアート活動・ウォーキング等の運動に取り組んだ。		
	(3) 余暇的な活動 森の家を使い、昼休みの時間にカフェを運営した。利用者がお菓子やジュースの飲食ができたり、料理や菓子を一緒に作って食べたりするなど、利用者が楽しめるイベントを計画・実行した。日帰り旅行を企画し5,6人のグループで長野県内や近隣の県に出かけてレジャー等を楽しんだ。また、個別のニーズに合わせて、買い物・外出・外食・料理などの余暇的な活動を行った。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	ながの地域 相談支援センター ベターデイズ	サービスの 種類	長野市児童発達相談支援事業 長野市障害者虐待防止・差別解消相談支援事業 長野県障がい児等療育支援事業 長野県発達障がいサポート・マネージャー整備事業 指定一般相談支援事業（地域移行、地域定着） 指定特定障害者相談支援事業・障害児相談支援事業 長野市ケアプラン作成事業
1. 総括	<p>長野市からの委託相談2事業、長野県からの委託相談2事業、指定特定障害児・者相談支援事業を中心に運営を行った。</p> <p>長野市児童発達相談支援事業では、家族だけでなく保健センターや児童相談所、学校などの関係機関からの相談を受け付けた。相談内容としては児童発達支援や放課後等デイサービス等の障害福祉サービスの利用希望の相談が多かった。困難ケースでは児童相談所等が関与し、養育の困難さを抱える家族や家族全体の支援が必要なため障害福祉サービスで対応できず多職種との連携が必要となった。</p> <p>長野市障害者虐待防止・差別解消相談支援事業では、通報・相談の受付とともに、虐待防止研修や出前講座を行った。福祉施設での虐待防止への意識や関心が高まってきたように感じる。また、差別解消では民生委員を中心に障害理解に関する出前講座を行った。</p> <p>長野県障がい児等療育支援事業では長野圏域北部を担当し、就学前の子どもの発達や子育て、療育等の相談を受け付けた。他機関との連携の会議の中では医療的ケア児や特別支援教育での課題について検討した。家族等対象の勉強会では「ゆったりズム」を企画し多くの参加があった。</p> <p>発達障がいサポート・マネージャー整備事業では、福祉、学校、医療等の支援者からの相談があり、関係機関とつながりを持ちながら相談支援の体制作りを行った。長野圏域の自立支援協議会で、地域の行動障害の現状について調査、研究を行うため「行動障害に係るワーキング」を設置した。</p> <p>特定障害児・者相談支援事業では、契約者数は623名となった。困難なケースでは障害福祉サービスでは対応できず難航するケースもあり、支援の方法について関係機関との検討や調整を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 長野市北部発達相談支援センター（長野市児童発達相談支援事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野市在住の障害児とその家族を対象に相談支援を行った。また、長野市障害ふくしネットに参加し地域課題を検討した。 ・長野市障害児発達支援研修啓発業務を受託し、市民を対象とした障害理解の研修会として映画上映を企画したが、まん延防止等重点措置の適用のため中止となった。 ・相談件数：2092件（内訳）訪問支援：99件、同行：82件、来所相談：133件、電話相談：437件、メール相談：48件、個別支援会議：181件、関係機関：1,112件 <hr/> <p>(2) 長野市障害者権利擁護サポートセンター（長野市障害者虐待防止・差別解消相談支援事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者虐待及び障害者差別に関する相談受付を行った。（43件） ・長野市障害者虐待防止・権利擁護研修会の実施 <p>第1回 講演会「よりよい支援のために～障害者虐待防止法の理解～」講師：植草学園</p>		

	<p>大学副学長 野沢和弘氏 参加者：74 事業所 135 名</p> <p>第 2 回 講演会「障害のある人の権利擁護」講師：弁護士 関哉直人氏 参加者：96 事業所 145 名</p> <p>第 3 回 講演会「障害者虐待防止委員会の設置と役割」講師：国学院大学教授 佐藤彰一氏 参加者：98 事業所 123 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者虐待防止に関する出前講座を障害福祉事業所向けに行った。(14 回) ・障害理解や差別解消に関する出前講座を民生児童委員や事業所向けに行った。(9 回) ・長野市障害ふくしネットやさしいお店プロジェクトの事務局として、差別解消法の啓発活動である「長野市障害者にやさしいお店登録制度」の広報を進めた。 ・相談件数：43 件（内訳）訪問支援：4 件、来所相談：6 件、電話相談：16 件、メール相談：3 件、個別支援会議：6 件、関係機関：7 件 その他：1 件 <p>(3) 長野県障がい児等療育支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野圏域内の在宅の障害児を対象に、家族や関係機関からの相談受付を行い必要に応じ療育支援や障害福祉サービスの情報提供を行った。また、園訪問を行い療育に関わる支援方法の指導や検討を行った ・サービス提供事業所や、地域の相談支援機関と児童に関する地域の実態や課題を共有し検討の場として、長野市内の放課後等デイサービス事業所連絡会や長野圏域子ども相談支援連絡会を開催した。 ・障害のある子どもを持つ親御さんを対象にした学習会「ゆったリズム」の実施（3 回） ・相談件数：8,454 件（内訳）訪問支援：633 件、同行：728 件、来所相談：294 件、電話相談：2515 件、メール相談：339 件、個別支援会議：3247 件、関係機関：696 件、その他：2 件 <p>(4) 発達障がいサポート・マネージャ整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野圏域を対象に、発達障害のあるご本人や、家族の相談支援を行っている支援者からの相談を受け、福祉サービスの利用や支援の方向性の検討を行った。医療、教育、福祉の専門機関がそれぞれの役割を理解しつつの緩やかな繋がりを広めることができた。 ・相談件数：295 件（内訳）個別支援：148 件、会議等出席：147 件 <p>(5) 地域定着支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サテライト型グループホームから自立生活援助サービスを利用後、単身生活に移行した 2 名を対象に常時の連絡体制を確保し必要に応じて支援を行った。 <p>(6) 指定特定障害者相談支援事業・障害児相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害児・者からの相談、アセスメントから、抱えている課題に対する適切な障害福祉サービスの調整を行い、サービス等利用計画を作成し、継続的にモニタリングを行った。 ・計画相談件数 <p>障害児：障害児支援利用計画：282 件、継続サービス利用支援：382 件、新規 26 件 障害者：サービス等利用計画作成：351 件、継続サービス利用支援 545 件 新規 28 件</p>
3. 職員数	管理者 1 名、長野市委託相談員 3 名、療育コーディネーター 2 名、発達障がいサポート・マネージャ 1 名、相談支援専門員 8 名
4. 開設時間	月曜日～金曜日 午前 8：30～午後 5：30
5. 単年度事業	なし

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	森と木 365	サービスの種類	短期入所
1. 総括	<p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症の流行に伴い定期利用者や予約利用者のキャンセルが続いていたが、昨年度に比べると利用者増となった。市内及び近隣市町村の障害者支援施設での短期入所受入中止の影響も大きく、在宅生活をしている障害のある人の家族の介護負担軽減などのニーズにこたえながら宿泊の支援を行った。</p> <p>利用者の処遇については、身体、その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事等の介助ができるよう職員を配置し、適切かつ効果的に行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) サービス等利用計画に沿った短期入所の提供 サービス等利用計画に沿って短期入所サービスの提供を行った。</p> <hr/> <p>(2) その他の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎サービスを実施した。 ・利用者の支援会議に参加し、サービスの調整を行った。 		
3. 職員数	管理者1名、生活支援員3名		
4. 利用者実績	<p>(1) 1日平均：8.4名（定員18名）</p> <p>(2) 契約者数：170名</p> <p>(3) 緊急受入数：64日（延利用人数：25名）</p>		
5. 開設時間	月曜日～日曜日		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。</p> <hr/> <p>(2) 自立生活に向けた相談、助言 ご本人やご家族から、将来の自立生活についての相談を受け、助言を行った。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	コミュニティケアセンター 森と木 365	サービスの種類	居宅介護(身体、通院)・行動援護、移動支援、市町村タイムケア、長野市障害児自立サポート、独自サービス
1. 総括	<p>行動援護事業、市町村移動支援事業の実施要綱に基づき、障害のある大人の方を対象に平日の夕方の時間や休日に、必要な支援を受けながらあらゆる社会体験を通して自己実現・自己選択・自己決定の機会を得られるよう多様なサービスの提供を行った。また、ホームで生活している重度の身体障害、行動障害のある方への身体介護や引きこもりや障害特性から自宅から出る事が難しい人に対し外出のサポートをおこない、自分らしく生活が送れるよう居宅介護事業の提供を行った。</p> <p>今年度も新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、外出企画は内容変更や中止などを余儀なくされ事業計画通りとはいかなかったものの、できる範囲の中で活動を充実させ、利用者には楽しんで参加してもらう事ができた。</p> <p>タイムケア、自立サポート、独自サービスについては、在宅で生活されている方の一時的な預かりや緊急時の預かり、介護軽減等を目的にサービスの提供を行った。</p>		
2. 事業の内容	(1)市町村移動支援事業、行動援護事業の実施 平日の夕方や週末に余暇活動の提案をし、参加者に適切な支援を行った。また、集団が苦手な方には個別の外出を提案し、社会参加の機会を提供した。		
	(2)居宅介護 在宅で生活されている方やケアホームで生活されている方を対象に、居宅介護等計画に沿った身体介護や家事援助の提供を行った。また、定期通院などには通院等介助の提供を行った。		
	(3)市町村タイムケア 障害のある方が、家庭等で介護できないときに一時的な預かりや緊急時の預かりなどを行った。		
	(4)長野市障害児自立サポート 障害のある子どもが、地域で充実した生活を送りながら、将来の自立に向けた様々な体験ができるよう支援を行った。		
	(5)法人独自サービス 病院の付添等福祉サービスが使えない場合や、タイムケア・自立サポートの上限数を超過してしまった場合などに、利用者の実費負担でサービスの提供を行った。		
	(6)その他の事業 送迎サービス		
3. 職員数	管理者 1 名、サービス提供責任者 2 名 ヘルパー18 名		
4. 利用者実績	月平均利用時間	居宅介護 226.0 時間、通院等介助 19.0 時間、家事援助 0.5 時間 行動援護 122.8 時間、移動支援 132.9 時間 タイムケア 696.4 時間、自立サポート 235.7 時間	
5. 開設時間	365 日 24 時間		

6. 活動/作業内容	<p>(1)サークルQ</p> <p>毎週土曜に定員5名程度の外出企画で参加者を募り、余暇支援の提供を行った。各年齢層に応じた活動を提案し多くの人に参加してもらい、余暇活動の提供を行った。</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況に応じて、企画内容や時間、人数を変更しながら、外出活動の提供を行った。</p>
	<p>(2)大人倶楽部</p> <p>年度当初21企画を年2回、5名程度の利用者でグループを作り活動を計画したが、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、活動時間や内容を変更しながらサービスの提供を行った。また、活動の際には感染症予防を徹底しながら外出企画を提供した。</p>
	<p>(3)アフター5</p> <p>(火)カラオケサークル、(水)歌サークル、健康スポーツ、(木)バスケットボール、バドミントン、(金)料理サークルと活動設定し、3名から8名程度の利用者に余暇活動の提供を行った。まん延防止措置期間については、体育館など公共施設が利用できず、活動を休止しながらサービスの提供を行った。</p>
	<p>(4)居宅介護(身体介護、通院介助)</p> <p>在宅で暮らしている方やグループホーム入居者を対象にヘルパーを派遣し、サービスの提供を行った。</p>
	<p>(5)行動援護・移動支援</p> <p>日中の外出活動(外食・プール・温泉・ウォーキング等)の要望を受け、個別にサービスの提供を行った。</p>
	<p>(6)タイムケア</p> <p>日中の一時預かりや緊急時などの対応、外出以外の余暇活動の支援を行った。</p>
	<p>(7)長野市障害児自立サポート</p> <p>放課後等デイサービスの営業時間外の時間帯で児童に対してサービスの提供を行った。</p>
7. 単年度事業等	なし

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	森と木ホーム 365	サービスの種類	共同生活援助 自立生活援助
1. 総括	<p>令和3年4月より事業所を森と木 365 へ移転し、事業所名を「森と木ホーム 365」に変更した。また、長野市稲田に「ノース稲田」を開所した。</p> <p>事業内容は、利用者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況や、環境に応じて、入浴・排せつ及び食事等の介護、相談その他の日常生活上の支援を適切に行った。また、障害のある人の地域の暮らしの場であるグループホームにおいて、一人ひとりがより豊かな地域生活を送ることができるように、きめ細やかな支援を行った。</p> <p>一人暮らしへの希望の聞き取りや生活能力のアセスメントを実施し、1名の方がサテライト型ホームへ移行した。自立生活援助では、5名の利用者へ定期的な訪問をおこない、1名はひとり暮らしへ移行、1名は共同生活援助へ移行となる。3名は相談事業と連携を図り、地域定着支援のサービス利用となった。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 共同生活援助計画の作成 6ヶ月に1度、共同生活援助計画の見直しを行い必要に応じて変更を行った。</p> <p>(2) 生活支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行ったほか、食事の提供や、掃除の支援、余暇時間の活動提案など、利用者1人ひとりの個別支援計画に沿ったサービスを提供した。</p> <p>(3) 自立生活に向けた相談、助言 ご本人やご家族から将来の自立生活についての相談を受け、助言を行った。</p> <p>(4) その他の事業 職場や通所先で健康診断を受けることができない利用者の方向けに、10月に長野県健康づくり事業団による健康診断を実施した。また、希望者には新型コロナウイルスのワクチン接種やインフルエンザの予防接種、歯科検診の機会を提案し、ヘルパー事業所と連携しながら健康管理に努めた。</p>		
3. 職員数	管理者1名、サービス管理責任者3名、世話人35名、生活支援員68名 地域生活支援員1名		
4. 利用者実績	共同生活援助 1日平均85.6名（定員104名） 自立生活援助 1日平均0.72名 同行支援：3件		
5. 開設時間	365日		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 日常生活上の介助、支援 個別支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。</p> <p>(2) 余暇等の社会参加の支援 個別支援計画に基づき、移動支援サービスや各種イベント等への参加等を提案し、必要に応じて予約などの手続きを行った。</p>		

	<p>(3)健康管理 体調不良や定期通院等必要に応じて通院に付き添い、医療機関との連携を図りながら日々の健康管理に努めた。</p> <p>(4)夜間巡回の実施 毎日 16 時～21 時の間に夜間巡回を実施し、入居者の生活状況を把握すると同時に世話人、生活支援員と情報交換を行い、連携を図った。</p> <p>(5)金銭管理 当法人では金銭管理を基本的に行わない方針であるが、ご家族による金銭管理が難しい場合や、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業の契約が難しい利用者 4 名において法人金銭管理規定に基づき金銭管理を実施した。</p>
7. 単年度事業等	なし

共同生活住居の状況

(1) 利用者の状況

- ①構成：男性 73 名、女性 27 名（うちサテライト型住居：男性 1 名、女性 4 名）
- ②平均年齢：38.8 歳
- ③平均支援区分：4.1

(2) 共同生活住居名および定員

住居名	所在地	定員	現員
みわ	長野市三輪	5 名	5 名
ぼるて平林A	長野市平林	4 名	4 名
ぼるて平林B	長野市平林	4 名	4 名
サンディ東和田	長野市東和田	7 名	7 名
パル平林	長野市平林	5 名	4 名
アルファ東和田 I	長野市東和田	6 名	6 名
メゾン浅川 A	長野市浅川	6 名	6 名
メゾン浅川 B	長野市浅川	6 名	6 名
アルファ東和田 II	長野市東和田	6 名	6 名
メゾン浅川 II	長野市浅川	4 名	2 名
サンハイム稲田 A	長野市稲田	5 名	5 名
サンハイム稲田 B	長野市稲田	4 名	4 名
ハイツもりた	長野市高田	6 名	5 名
グリーンハイツ稲田	長野市稲田	6 名	6 名
グリーンハイツ稲田イースト	長野市稲田	7 名	7 名
エクセリーナ森と木 A	長野市稲田	5 名	5 名
エクセリーナ森と木 B	長野市稲田	5 名	5 名
ノース稲田 A	長野市稲田	4 名	4 名
ノース稲田 B	長野市稲田	4 名	4 名
サテライト型住居 (5 所)	長野市内	5 名	5 名

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	グリーンハイツ稲田	サービスの種類	短期入所
1. 総括	グリーンハイツ稲田では児童養護施設、精神科病院などを退所したが家庭での生活が困難な障害児・者に対し、地域移行のためのアセスメントと必要な支援を検討・実施することを目的に、短期入所のサービスを提供した。利用者の身体、その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事の介助、その他の必要な相談支援等を行った。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行った。		
	(2) その他の事業 送迎サービス、支援会議への出席		
3. 職員数	管理者 1 名、生活支援員 1 名		
4. 利用者実績	短期入所 1 日平均 0.36 名（定員 2 名）※契約者数 3 名		
5. 開設時間	月曜日～日曜日		
6. 活動/作業内容	(1) 日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。		
	(2) 自立生活に向けた相談、助言 ご本人やご家族から、将来の自立生活についての相談を受け、助言を行った。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	こどもの自立生活館 茜舎	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>児童福祉法で定められた放課後等デイサービスの提供を行った。学齢期の障害のある子どもたちを対象に、放課後や休日に年齢相応の様々な社会体験を積み重ねられるよう「わくわく」と「クラブ」の活動を企画・実施してきた。</p> <p>また、家族への支援として介護軽減、緊急時に対応できる体制も整え、障害のある子ども達を地域で支えるための支援を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のための分散登校やまん延防止等重点措置が実施されていた期間においては、安全に配慮しながら日中のサービスを提供し、各家庭と連絡を取りながら緊急時における個々に必要な支援を行った。</p>		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(2) 個別支援計画の作成 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供を行った。		
	(3) その他の事業 送迎サービス、避難訓練、茜舎説明会、個別面談		
3. 職員数	管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、保育士2名、児童指導員1名、指導員3名		
4. 利用者実績	1日平均10名（定員10名）		
5. 開設時間	月曜日～金曜日 午後2:30～午後6:30 土曜日等学校休業日 午前9:30～午後3:30 ※緊急時の対応として、365日24時間の体制を確保		
6. 活動/作業内容	(1) わくわくプログラム 小学校1年生～3年生を主な対象とし、週替わりにテーマが変わるプログラムを企画・実施し、様々な遊びや社会体験に触れられる機会を提供した。また、長期休暇については特別プログラムを実施し、川遊びやデイキャンプなどの活動を行った。		
	(2) クラブ 小学校4年～高校3年生を主な対象とし、曜日ごとにテーマ（アウトドア、お料理、アート、おでかけ、スポーツ、お楽しみ）を決めた「クラブ」を実施し、その活動のなかで様々な遊びに触れ、社会体験を積み重ねられるよう、プログラムを企画・実施した。また長期休暇に関しては特別プログラムを実施し、川遊びやデイキャンプなどの活動を行った。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	茜舎くらぶ	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>児童福祉法で定められた放課後等デイサービスの提供を行った。学齢期の障害のある子どもたちが、放課後・休日に年齢相応の様々な社会体験を積み重ねられるよう、曜日ごとにテーマを決めた「部活動」を通して、一人ひとりが目標をもって活動に参加できるよう支援をおこなった。主な活動場所として地域の施設を使用し、地域住民等とも触れ合える機会を積極的に作ってきた。</p> <p>併せて、医療的ケアなどを必要とする子どもが安心して過ごせる施設として環境整備を行い、受け入れを行ってきた。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のための分散登校やまん延防止等重点措置が実施されていた期間においては、安全に配慮しながら日中のサービスを提供し、各家庭と連絡を取りながら緊急時における個々に必要な支援を行った。</p>		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(2) 個別支援計画の作成 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供をおこなった。		
	(3) その他の事業 送迎サービス、茜舎説明会、個別面談		
3. 職員数	管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、保育士1名、児童指導員3名		
4. 利用者実績	1日平均9名（定員10名）		
5. 開設時間	<p>月曜日～金曜日 午後2:30～午後6:30 土曜日、学校休業日 午前9:30～午後3:30 ※緊急時の対応として、365日24時間の体制を確保</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 部活動 放課後の時間に（月）ダンス部、（火）クッキング部、（水）水泳部、（木）バス鉄道研究部、（金）アートワーク部、（土）おたのしみクラブを実施した。それぞれ目標を持って活動に取り組んできたが、新型コロナウイルス感染拡大による影響のため、年度末の発表会等の機会をもつことができなかった。長期休暇に関しては特別プログラムを計画し、川遊びやデイキャンプなどの活動を提供した。</p> <p>(2) 医療的ケアが必要なお子さんの受け入れ 医療的ケアが必要なお子さんの活動の場所を広げられるよう、環境整備やBeeとの連携など支援体制を整え受け入れを進めてきた。今年度は医療的ケアが必要なお子さん4名を受け入れ、主治医やご家庭のほか、関係機関と連携のうえ、安全に活動ができるように支援を行ってきた。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【令和3年度】			
事業所名	こども発達支援センター B e e	サービスの種類	児童発達支援 保育所等訪問支援
1. 総括	<p>通所する子どもたちの支援として、日常生活における基本的動作の習得や、集団生活に適応することができるような集団活動を提供し、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を実施した。また、保護者に対し育児相談などの子育て支援も行ってきた。</p> <p>保育所等訪問支援では、地域の保育園、幼稚園、小学校などを併用する子どもに対し、子どもへの直接支援や保育士、教員に対しアドバイスをを行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症関連で、蔓延防止等重点措置の期間中は利用児の通所が1日10～12名程度であった。また、3月に利用児童から感染者が出たことで、1日閉所し、その週の利用児童が減少したこと等により、事業運営に大きな影響があった。予定していた3回の保育参観も、感染状況を鑑み中止とした。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った児童発達支援および保育所等訪問支援を行った。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 児童発達支援計画を作成し、6か月毎にケア会議を開催した。</p> <p>(3) その他の事業 地域の保育所、小学校等への移行支援を行なった。また、市内保育園、幼稚園の保育士の施設見学の受入を行い、対象児童への支援の引継ぎをおこなった。</p>		
3. 職員数	管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、保育士8名、看護師3名、訪問支援員2名		
4. 利用者実績	児童発達支援 1日平均17名（定員25名）※契約者数34名 保育所等訪問 年間247件 ※契約者数51名		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前9:00～午後4:00		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 基本的な生活習慣の形成に関する支援の実施 アセスメントを行い、トイレトレーニングや食事等の基本的な生活習慣の形成に関する支援を行った。</p> <p>(2) 社会性や対人関係に関する支援の実施 集団生活の中での遊びを通して、社会性や対人関係に関する支援を行った。</p> <p>(3) 運動や健康に関する支援の実施 粗大運動を取り入れた活動の提供や、看護師による健康管理などの支援を行った。また、月1回土曜日にたいそう教室、なかよし教室を開催した。 なかよし教室：7回実施、たいそう教室：7回実施。</p> <p>(4) みんなの広場の実施(家族参加のお楽しみ会) ・7月17日 なつまつり(31家族) ・10月23日 運動会(28家族) ・12月18日 クリスマス会(29家族) ・3月26日 卒園証書授与式(10家族)</p> <p>(5) 保育所等訪問支援の実施 登録51名の児童に対し、児童の所属する場所において個別および担当者への支援を行った。 ・保育園：5園・幼稚園：5園・認定こども園：5園 ・公立小学校：11校・特別支援学校：2校</p>		
7. 単年度事業等	なし		